



10周年を 迎えた 蓮二小 ビオトープ

6月25日
全校で祝った記念祝典

◎第2回全国学校ビオトープコンクールで日本生態系協会会長賞を受賞した板橋区立蓮根第三小学校の学校ビオトープのニュース



石井雅喜校長のお話



4,5,6年合奏「エーデルワイス」で心一つ



ビオトープ委員会が手作り横断幕でスローガンを発表

ビオトープ みんなに愛され10周年 これからも 生き物の命を大切に 蓮根第二小ビオトープ委員会



板橋区の北川容子教育長より、ビオトープ作りを推進してきたセンスオブアースに、蓮二小の「小さな自然」は地球にとって「大きな自然」との思いで、地域みんなで祝うお言葉をいただきましたのでご紹介します。

蓮根第二小学校 ビオトープ10周年にあたって思うこと

板橋区教育委員会 教育長 北川 容子

蓮根第二小学校のビオトープ10周年、おめでとうございます。

平成11年だったでしょうか、当時の寺田校長先生が、子どもたちの身近なところに、たくさんの生き物が来る環境をつくりたいとの熱い願いを持って保護者に訴え、賛同するお父さんやお母さんが校庭の花壇を



会場でお話する
北川容子教育長

使って実験のミニ・ビオトープを作り始めました。これが子どもたちと父母の合作による本格的な学校ビオトープづくりへとつながっていったのです。このときの寺田校長先生と父母たちのエネルギーはものすごいものでした。丁度、積極的に環境行政をすすめていた板橋区と教育委員会も、ともに応援させていただきましました。

私は当時、教育委員会でビオトープづくりの過程を見ていましたので、あの頃の寺田校長先生を先頭に、子どもたちや父母が知恵を絞り、どろどろになって労働する姿を本当に懐かしく思い出します。校長先生や教職員、子どもたちや父母、みんなが穴を掘り、土を運び、汗まみれになって働く姿に感心するばかりでした。完成後、はじめて荒川から虫が来たと知らせてくれた子どもたちのいきいきとした顔を忘れることが出来ません。

その後、石井現校長先生の努力があって校庭が芝生になり、ビオトープから校庭に自然の緑のつながりが出来ました。ビオトープも芝生も生きています。

こんなすばらしい状態に保っていただくためには、10年間の学校を中心とするたくさんの皆さんの取り組みがあったことでしょう。最初の「ビオトープをつくろう会」の取り組みが今、学校支援地域本部の活動に繋がり、蓮二小では他校に誇る特色ある活動が進められています。このすばらしい環境と活動をいつまでも維持し、子どもたちの笑顔が絶えない学校づくりのために、これからもたくさんの皆さんののかかわりをお願いしたいと心より願っています。

2000年(平成12年)の12月に完成した蓮二小ビオトープが、10年の節目を迎えた。石井雅喜校長始め教職員と現在の在校生が、また、当時から今もビオトープを支援し続けてきたビオトープつくろう会現会長大谷孝公氏始め、保護者・地元の方々・北川教育長はじめとする行政関係者・卒業生のボランティア学生など、多くの来賓のみなさんと、校庭全域に青々と波立つ芝生へと続いてきた命を宿すビオトープ10年を、盛大に祝った。

10年前出来たばかりの頃のビオトープは、土くればかりの小山と水場ばかりであったが、その

後、荒川に生きているいきものの生態系が復元されていった。ヤハズソウ・タカサブロウ・サンカクイ・フトイ・カンガレイ・コガマ・ヨシ・カワヤナギ・オオオナモミ・ヨモギ・フキ・アオスジアゲハ・キアゲハ・ベニシジミ・ツバメシジミ・ショウリョウバッタ・オオカマキリ・トノサマバッタ・ナナホシテントウ・アブラゼミ・カルガモ・オナガ・ムクドリ・ツグミ・セキレイ・コサギ・コウモリ・クロベンケイ・ヤマアカガエル・アズマヒキガエル・アマガエル・ヨシノボリ・クロメダカ・最近ではモツゴなどである。

この日、学校のビオトープ委員会では、この日を節目にこの先もずっと、ビオトープが元気に続くように全校児童に呼びかけをした。『ビオトープ みんなに愛され10周年 これからも 生き物の命を大切に』大人も子どもも、今年の災害を体験して、さらに重みを増した言葉である。

この祝典には、学生ボランティアとして、当時5年生だった増田佳奈美さんが、他の学生と共に参加し、子



どもたちへの音楽の贈り物で会場を盛り上げてくれた。4～6年生たちも「エーデルワイス」を一緒に演奏し、みんなが一体となった会場は、生きものの未来を守っていく姿に重なって見えた。(SOE 理事長 寺田茂)



ボランティアで参加した大学生の感想

日本女子大 松田 尚子

6月25日式典では、オープニングの音楽演奏を担当しました。式典の雰囲気づくりのために様々な曲を演奏しました。中でも心に残っているのは、児童のみなさんと演奏した「エーデルワイス」です。ぶっつけ本番だったにもかかわらず、体育館には美しいリコーダーの音色が響き渡りました。私は、指揮を振っていましたが、その間ずっと、鳥肌が立っていました。体育館にいる全ての人の心が一つになったような気がしました。「音楽の力は偉大だ」と改めて感じました。蓮根第二小学校のみなさんの心にも「エーデルワイス」がいつまでも残っていてほしいなと感じます。



日本女子大 須藤 かおり

ビオトープ記念10周年では、蓮二小の自然を見つけるビンゴを行いました。短い時間の中で、子どもたちは様々な発見をしていました。「すべすべした木はここにある」と普段から学校内の自然を観察しているようで、上級生が下級生を連れて目的の木まで連れていたのが印象的でした。

ビンゴができたグループにどんなものが見つけれられたか聞いてみると、同じ木の葉のそよぐ音でも一人ひとり表現の仕方がちがいました。「さわさわ」「さらさら」など、グループ全員が同じ音を聞いて、自分の感性で音を表現するとちがう音になる。音の表現に正解はないので、この感性を大事にしてほしいと思いました。

家政大 増田 佳奈美

ビオトープが誕生した10年前、私はこの学校の5年生でした。

ビオトープの制作に小学校全体で取り組み、地域の方々に協力して頂き、作り上げたように感じました。完成した時は、生き物や植物はあまり見られませんでした。それでも当時の私からみたら立派なビオトープでした。しかし、今回の10周年記念式典の際に見たビオトープは、緑が青々と茂っていて、生き物も沢山おり10年前よりもすばらしい場所になっていました。このままのビオトープを保ってほしいと思いました。

SOE ネイチャーゲーム リーダー養成講座

ネイチャーゲームは1979年、米国のナチュラリスト、ジョセフ・コーネル氏により発表された自然体験プログラムです。本講習でそのスキルを身につけることで、リーダーとして学校や地域を舞台としてネイチャーゲームを実践できます。また、普段のライフスタイルの中で自然と親しむゆとりと感性をもたらしてくれます。

日時：2011年8月4日・5日：2日間 場所：板橋区立エコポリスセンター・板橋区立前野公園
費用：講習費 10,000 円前後（修了後、登録費用等で別途 10,300 円が必要となります）

お申し込み・お問い合わせはメールで：info@npo-soe.jp（担当：北野）

お申込期限：2011年7月17日(日)

向原中学校で1年生が みそづくり◎6月21日

総合的な学習の時間で、田中先生のご指導で1年生が環境学習として「食と環境」をテーマに、緑のカーテンと野菜栽培体験を行いつつ、日本人の貴重なタンパク源としての大豆を導入として取り上げ、その大豆から環境問題を捉えながら、日本食の基本の味噌づくりに取り組みました。センスオブアースが午前中いっぱいをかけて、大豆を煮て準備を整え、午後、生徒たちが2時間（100分）の味噌づくりに挑戦しました。以下参加した生徒たちの一言感想をお読みください。



- わたしの楽しかったことは全部です。大豆を足でつぶすこと、こうじと塩を混ぜること、団子状に丸めること、たるに投げ入れること、日付学年記入すること、全部です。(角谷 未来さん)
- 一番楽しかったのは袋に入っている大豆を踏む作業です。「ぬるぬる」していたがその感触が気持ちよかったです。(岡田 茉莉さん)
- 味噌づくりで気づいたことはかなりこうじの匂いが強かったのですが、味噌を発酵させる役割があると聞いたのですごいなあと思いました。日本の大豆がほとんど輸入されていること。(金山 総樹さん)
- 私はこの授業を受けて外国産のものを買うよりも日本産のものを買った方が地球にやさしいことなどがよくわかりました。(同 浮辺 陽美さん)
- 気付いたことは、味噌は簡単に作れるということです。(千葉 龍太さん)
- 僕は大豆でもやしを作りたいと思っています。(新村 貴彦さん)
- 味噌づくり体験をやり大豆にすごく興味を持つことができました。もっと調べる。(中川 由希奈さん)
- 食べものを作る大変さを知り味噌に限らず全ての食べものに感謝するようになりました。(種村 真人さん)
- この味噌づくり体験をやって大豆にすごく興味を持ちました。大豆を調べていきたい。(佐藤 眞世さん)



● S.O.E. 活動報告 (2011年6月)

日	曜	内容
1	水	志村六小ヤゴ救出作戦参加
2	木	前野小ヤゴ救出作戦参加
4	土	NHKエコパーク出店 10:00～17:00(～5日)
7	火	区立くすみ保育園「いもむしのたからぶくろ」プログラム実施22名・志二小ヤゴ救出参加
9	木	SOE教員採用試験対策講座開催
11	土	SOE教採対策講座開催
12	日	6月号SOEニュース発行

日	曜	内容
14	火	区立若木保育園「いもむしのたからぶくろ」実施幼児19名
16	木	SOE教採対策講座開催
18	土	蓮二小ビオトープ手入れ作業 SOE教採対策講座開催
21	火	向原中1年味噌づくりプロ実施
23	木	SOE教採対策講座開催
24	金	板橋区環境教育プログラム部会参加
25	土	蓮二小ビオトープ10周年祝典参加
26	日	SOE教採対策講座開催
30	木	三園小2年授業打合せ

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6053
e-mail: info@npo-soe.jp url: www.npo-soe.jp